

カナザワ ダンス シアター

KANAZAWA DANCE THEATER

2018

平成30年

3月10日(土) 午後 6:00 開演

3月11日(日) 午後 1:30 開演

午後 4:00 開演
いずれも30分前開場



日本洋舞連合

2007年より始まったS.C.D.C.in金沢
(Self Choreograph Dance Competition in Kanazawa)の
受賞作を更に昇華させる場として、
新時代を担う舞踊家たちが集い創作力向上を目指す交流の場として、
金沢21世紀美術館シアター-21をカナザワ ダンス シアターとして開放します。



金沢21世紀美術館シアター-21

〒920-8509 石川県金沢市広坂1丁目2番1号



【入場券】 一般販売開始 2月1日
自由席券 2,000円(当日2,500円)

【入場券取り扱い】

日本洋舞連合事務局

TEL 076-257-1557

E-mail clochett@p2222.nsk.ne.jp

チケットぴあ

Pコード 484-462

主催 日本洋舞連合 公益財団法人金沢芸術創造財団

助成 公益財団法人いしかわ県民文化振興基金

後援 一般財団法人石川県芸術文化協会

北國新聞社 テレビ金沢

協力 石川県洋舞連盟



Program

Opening

カナザワ ダンス シアター第1回開催記念 日本洋舞連合理事推薦の5名による合同作 「加賀五彩による即興詩」

振付：武元賀寿子 監修：中村祐子

出演：石野 実紅〈中山 芽バレエスタジオ〉
館 久瑠実〈前多敬子・田中勉バレエ教室〉
竹田 星奈〈白楊モダンダンス研究会〉
広村 有香〈同上〉
飯田あすか〈フクイバレエ団・研究所〉

1 S.C.D.C.in 金沢 2017 中村祐子賞受賞作再演

「積んでは壊し ツンデハコ・ワ・シ…」〈作家部門〉

作：水野多麻紀

出演：富士奈津子 黄 彦霖 千田沙也加 須崎 汐理
小澤 早嬉 阿部 陽香 酒井のぞみ

2 S.C.D.C.in 金沢受賞作を新キャストで再演

S.C.D.C.in 金沢 2015 審査員賞受賞作

「彼女たちの憂鬱-マチネ-」

振付：小津 多恵 監修：北井千都代

出演：高井菜々乃〈ダンスドライブ・ゼロ〉
寺田 亜紗〈同上〉
中川 怜菜〈同上〉

3 S.C.D.C.in 金沢 2017 審査員賞のリメイク作

「H2O」〈自作自演部門〉2017 オーディエンス賞受賞作

作・演：丹波 南美 脇坂夢希実 濱田 茜

4 S.C.D.C.in 金沢 2017 審査員賞のリメイク作

YOU
「友」〈自作自演部門〉

作：水野多麻紀

出演：水野多麻紀 黄 彦霖

5 カナザワ ダンス シアター新作委嘱作品 歴代受賞者による能管とのコラボレーション

「巡る」

作・演：江戸裕梨 中村香耶 監修：鈴木 竜

能管：江野 泉

作者紹介

武元賀寿子

小学生で日本舞踊を学び、高校時代に中村祐子モダンバレエ研究所を経て日本女子体育短期大学舞踊専攻コースへ入学。日本モダンダンス界のパイオニア江口隆哉の最後の弟子でもある。卒業後同コースで金井英三枝舞踊研究室の助手をつとめ、'86年文化庁芸術家在外派遣研修員として1年渡米。'91年DANCE VENUS結成。国内外で多くの委嘱作品を発表し、ダンサー、振付家として活躍する一方、S.C.D.C.in 金沢においても2年に亘りワークショップの講師、審査員を務めるなど後進の育成にも取り組んでいる。日本洋舞連合理事。

水野多麻紀

2歳より母、水野聖子に師事。5歳から全国コンクールに出場し、こうべ、東京、あきた、ヨコハマで1位、International Contemporary Dance Competition Korea 2位。神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻在学中に島崎徹教授に同行しSingapore Dance Theatre でリハーサルマスターを勤める。卒業後、Stuttgart Ballet John Cranko Schule, Taipei National University of Arts, Dance Forum Taipei で振り写しリハーサルマスター。'17年、台湾を拠点とし、International Young Choreographer Project in 高雄 2017にて世界中の若い振付家8名の一人として選出される。現在複数のカンパニーと契約しダンサー兼振付家として活動中。自身のスキルアップを通して舞踊の輸出入に力を入れている。

小津多恵

7歳より五木田勲、北井千都代に師事。その後、関原亜子、横田百合子、高岡由美、冴子、菊地尚子、からも舞踊について多くの事を学ぶ。文化庁主催や舞踊協会主催などの公演に多数参加し、東京、埼玉を中心に金沢、宮城、名古屋など全国の舞台に出演している。モダンバレエ教室アラベスクの主宰として後進の指導にあたり、更に、A'カンパニー代表として創作活動にも力を入れ、多数の作品を発表している。S.C.D.C.in 金沢では、審査員賞3回、コレオグラファー賞を受賞。

丹波南美

4才よりクラシック、7才より、モダンダンスを中西優子に師事。第19回東京なかの国際ダンスコンペティション高校生部門第1位。その他、埼玉、ヨコハマ、ジュニア部門にて第1位受賞。KCS 中西優子ダンススペース所属

脇坂夢希実

6才より中西優子に師事。第70回全国中学校、高等学校ダンスコンクール 高校ソロデュエット部門第3位、第16回なかの国際ダンスコンペティション中学生部門第2位。KCS 中西優子ダンススペース所属

濱田 茜

6才より中西優子に師事。第27回ヨコハマコンペティションジュニア部赤い靴賞受賞 利賀ダンスフェスティバル(中西優子作品)に出演。KCS 中西優子ダンススペース所属

江戸裕梨

幼少時よりバレエ、現代舞踊を前多敬子、田中勉氏に師事。S.C.D.C.in 金沢 2008 中村祐子賞。バレエ、ジャズ、コンテンポラリーを今中友子氏に、グラハムテクニックをYoshiMorimoto氏に師事。その後トモコダンスアートカンパニーに入団。2014年京都バレエコンクール P.B.K モダン&コンテンポラリーの部第1位。2016年同コンクールアンサンブル部門デュオの部第1位。

中村香耶

2才より祖母中村祐子に師事。幼少より多くの舞台経験と創作に携わる環境に恵まれる。昭和音楽大学短期大学部音楽科バレエコース卒業。アカデミー主催の公演以外にも国民文化祭、ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭など県内外の舞台に多数出演の他、サンフランシスコや台南、パッファロー市等との国際交流事業にも参加。中学時代より創作を始めS.C.D.C.in 金沢で審査員賞3回、中村祐子賞1回受賞。現在は中村祐子モダンバレエアカデミーにおいて指導にあたる傍ら自身の舞踊活動を続ける。日本洋舞連合正会員。